

令和7年度
「社会福祉法人の地域との関係等に関するアンケート」
調査報告について

社会福祉法人
武蔵村山市社会福祉協議会
令和8年2月

1 調査の概要

- (1) 目的：社会福祉法人・社会福祉施設の地域貢献活動の現状を把握し、今後本会として、社会福祉法人ネットワーク連絡会立ち上げを進める資料とするため。
- (2) 実施主体：武蔵村山市社会福祉協議会 福祉総務課 総務係
- (3) 実施対象：武蔵村山市内にある社会福祉法人が運営する社会福祉施設
- (4) 調査内容：Ⅰ 基本情報・Ⅱ 社会福祉法人の地域との関係等について
Ⅲ 地域における公益的な取組について
- (5) 調査方法：郵送またはメールで通知し、web上のアンケート（グーグルフォーム）システム又は、FAXにて回答
- (6) 実施期間：令和7年12月8日～令和8年1月13日
- (7) 回収結果：配布数 社会福祉法人数 21団体 ・ 施設数 34件

有効回収数 社会福祉法人 20団体 ・ 施設数 29件
(有効回収率 85.2%)

令和8年1月末日現在

分類	回答依頼数	回答数
高齢者関係事業所（在宅系・施設系・相談系）	9	8
障害者関係事業所（身体・知的・精神・高次脳）	10	9
児童福祉関係事業所（幼稚園・保育園）	15	12
合計	34	29

- (8) 調査結果：アンケート集計後、市内社会福祉法人・社会福祉施設に情報提供するほか、社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会ホームページに掲載する。また、武蔵村山市第四次地域福祉活動計画の参考資料として活用する。

社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会ホームページ
<https://mmshakyo.jp/>

2 調査結果

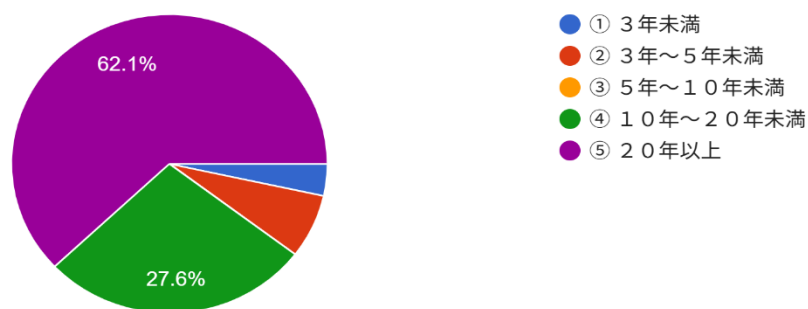
I 基本情報

(1) 現在地での開設年数

項目	施設数
3年未満	1
3～5年未満	2
5～10年未満	0
10～20年未満	8
20年以上	18
合計	29

問1 貴施設の現在地での開設年数を選んでください。

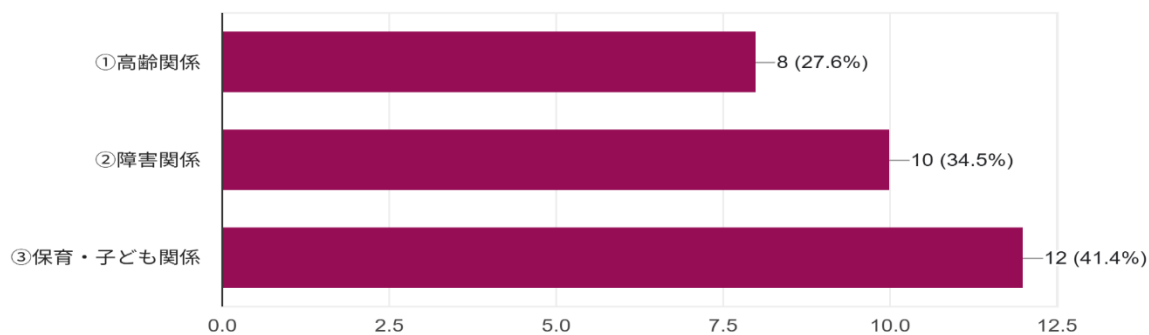
29件の回答



(2) 主な事業分野（あてはまるものすべて）

問2 主な事業分野を選んでください。

29件の回答

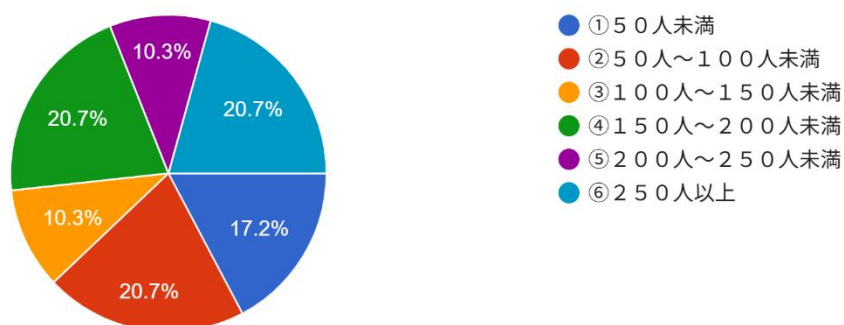


(3) 法人全体の職員数

項目	施設数
50人未満	5
50～100人未満	6
100～150人未満	3
150～200人未満	6
200～250人未満	3
250人以上	6
合 計	29

問3 法人全体の職員数を選んでください。

29件の回答

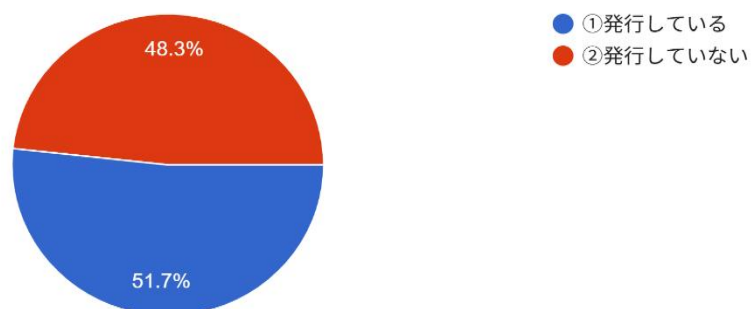


(4) 広報誌（機関紙）の発行

項目	施設数
発行している	15
発行していない	14

問4 広報誌（機関紙）を発行していますか。

29件の回答

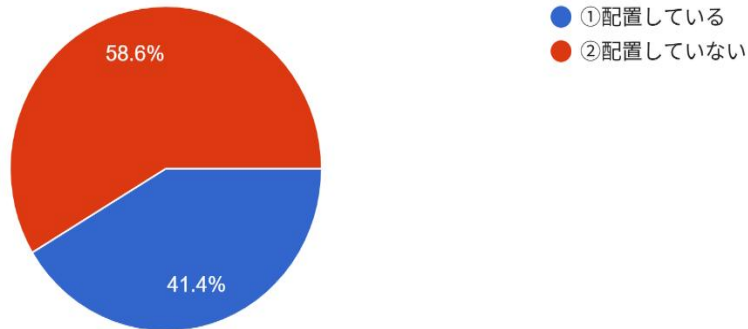


(5) 地域との連携業務を行う職員の配置

項目	施設数
配置している	12
配置していない	17

問5 地域との連携業務を行う職員を配置していますか。

29件の回答



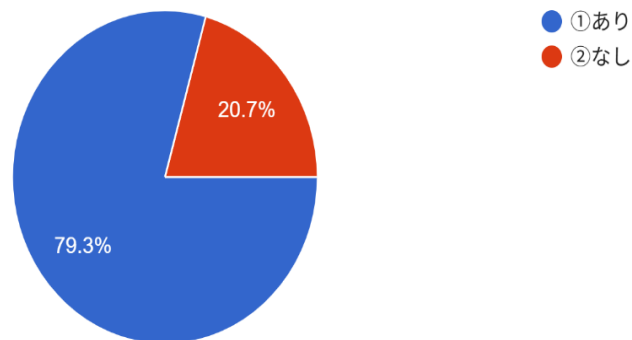
II 社会福祉法人の地域との関係等について

問1 貴施設では、地域との関係（人的関係、事業交流、相互協力活動、施設のスペース・備品の提供など）がありますか。

項目	施設数
有り	23
無し	6

問1 貴施設では、地域との関係（人的関係、事...施設のスペース・備品の提供等）がありますか。

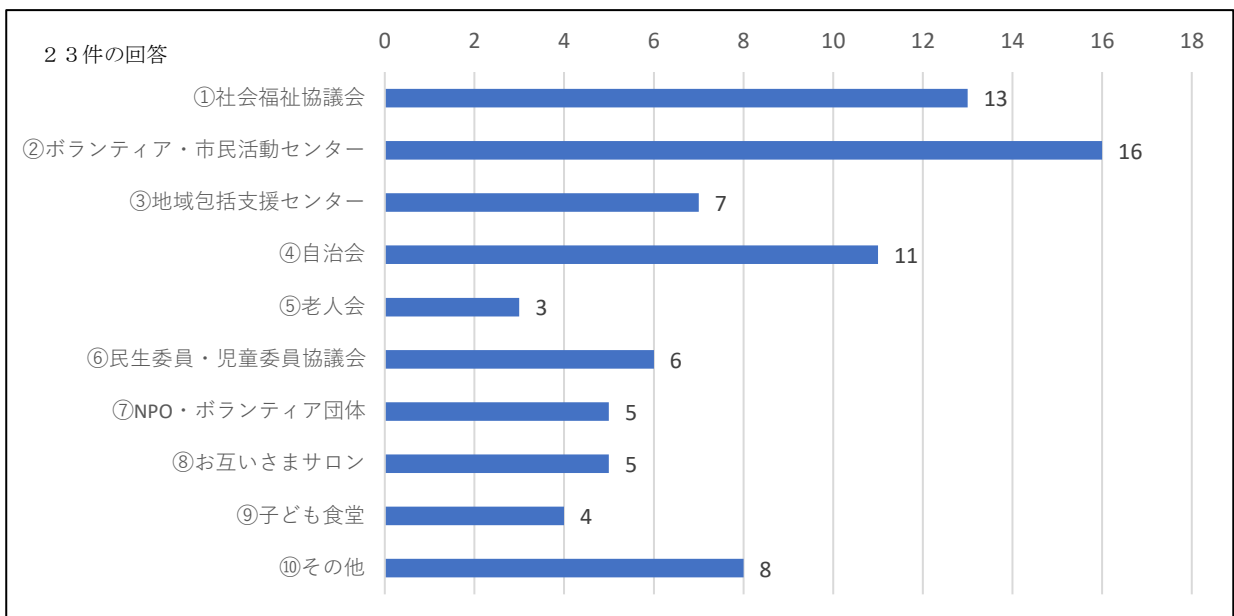
29件の回答



Ⅱ問1で「1」（あり）と回答されたかたにおたずねします。

問2 貴施設と具体的な関係がある地域団体として該当するものをすべて選んでください。

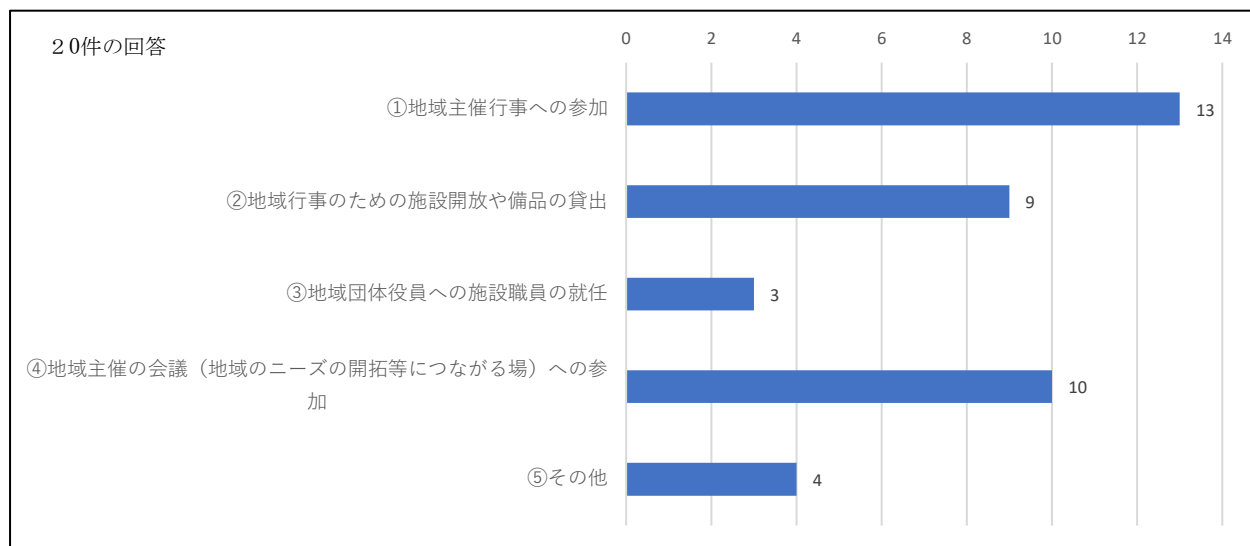
項目	件数
①社会福祉協議会	13
②ボランティア・市民活動センター	16
③地域包括支援センター	7
④自治会	11
⑤老人会	3
⑥民生委員・児童委員協議会	6
⑦NPO・ボランティア団体	5
⑧お互いさまサロン	5
⑨子ども食堂	4
⑩その他	8
その他の回答：市役所・自立支援協議会・保育園・中学校・障害福祉サービス事業所	



問3 地域との関係で行っている活動としてはどのようなものがありますか。該当するものをすべて選んでください。

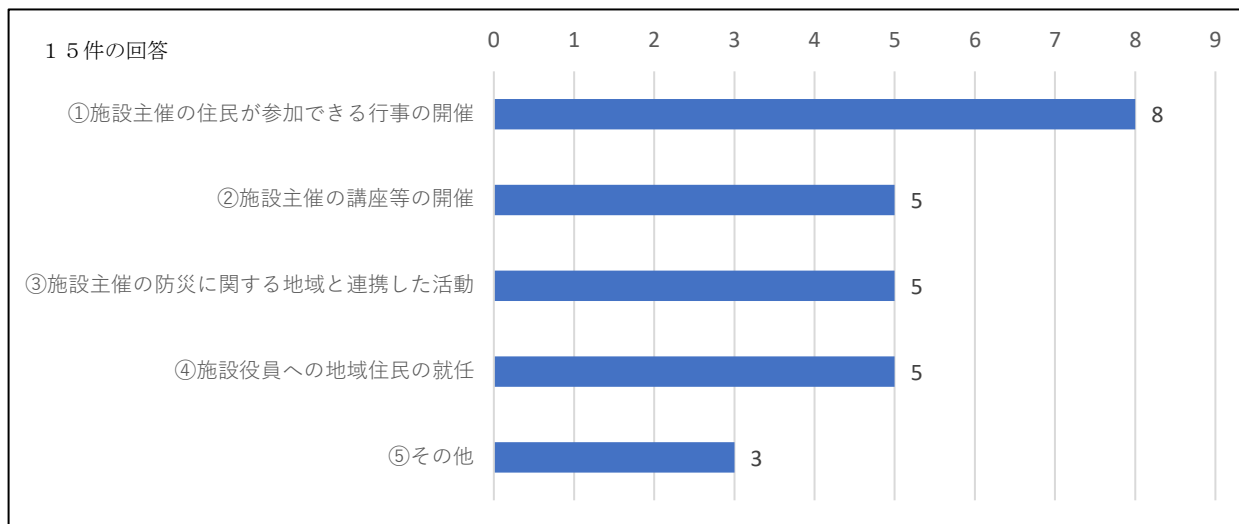
①地域主体で、施設が参加・協力する活動（複数回答）

項目	件数
①地域主催行事への参加	13
②地域行事のための施設開放や備品の貸出	9
③地域団体役員への施設職員の就任	3
④地域主催の会議（地域のニーズの開拓等につながる場）への参加	10
⑤その他	4
その他の回答：災害時の避難場所提供・ボランティアの受け入れ・福祉団体への調理実習場所の貸し出し	



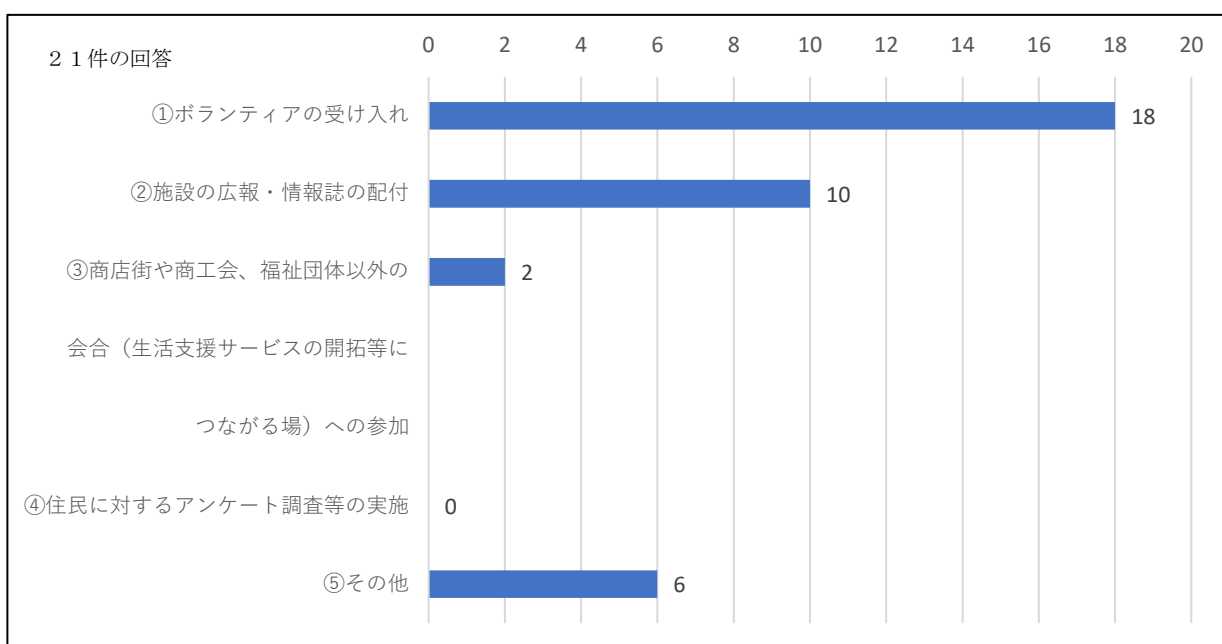
②施設主体で、地域が参加・協力する活動（複数回答）

項目	件数
①施設主催の住民が参加できる行事の開催	8
②施設主催の講座等の開催	5
③施設主催の防災に関する地域と連携した活動	5
④施設役員への地域住民の就任	5
⑤その他	3
その他の回答：新型コロナ以降、現状では特になし	



③その他（単独活動含む）（複数回答）

項目	件数
①ボランティアの受け入れ	18
②施設の広報・情報誌の配付	10
③商店街や商工会、福祉団体以外の会合 （生活支援サービスの開拓等につながる場）への参加	2
④住民に対するアンケート調査等の実施	0
⑤その他	6
その他の回答：中学生の職場体験の受け入れ・自主生産品等の広報及び販売活動	

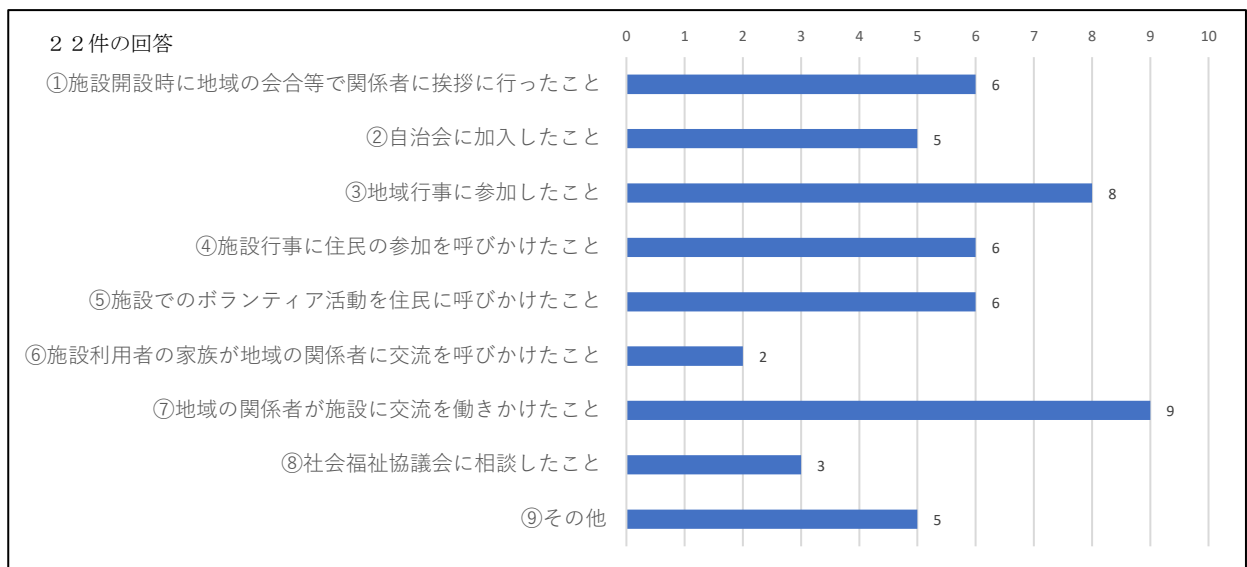


④ 1～3以外の活動があれば、ご記入ください。

- ・ 職場体験実習の受け入れ。
- ・ 保育所体験や出前保育等、地域の未就園児、親子を対象として行っている。
- ・ 障害者施設や小中学校との交流等。
- ・ 職員の中に地域の民生委員がいる。
- ・ 第三者委員に地域住民を選任している。
- ・ 保育園との定期的な交流会の実施。

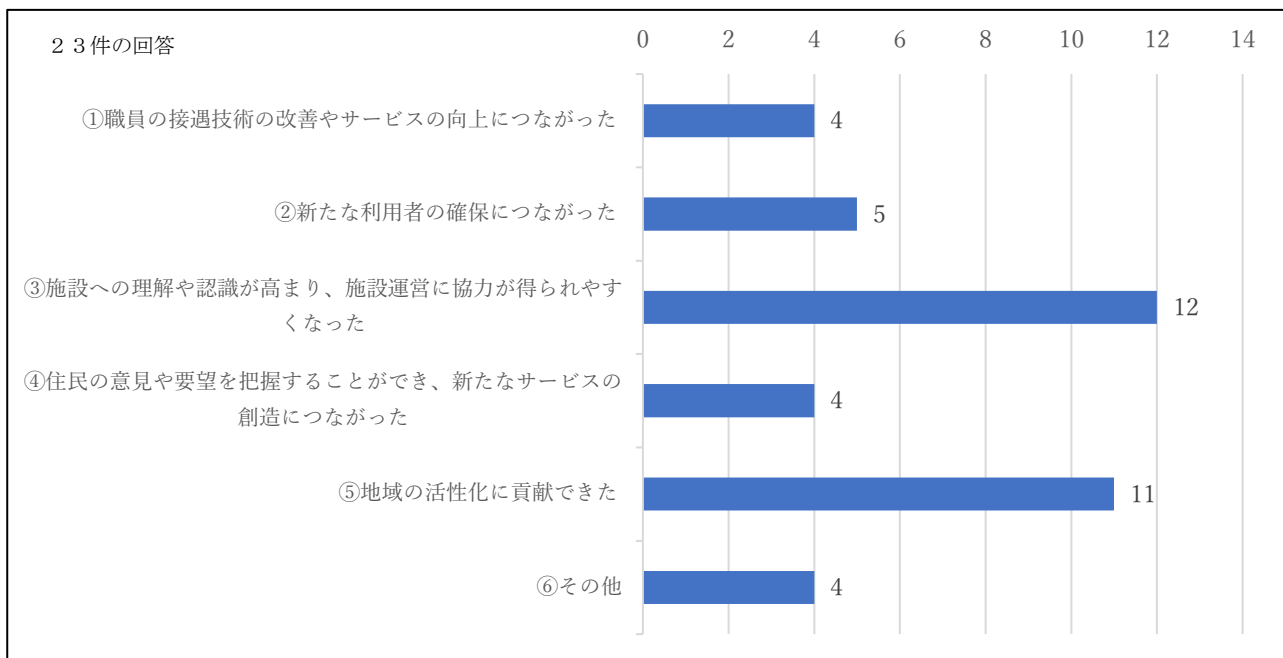
問4 地域との関係は、どのようなきっかけで始まりましたか。該当するものをすべて選んでください。

項目	件数
①施設開設時に地域の会合等で関係者に挨拶に行ったこと	6
②自治会に加入したこと	5
③地域行事に参加したこと	8
④施設行事に住民の参加を呼びかけたこと	6
⑤施設でのボランティア活動を住民に呼びかけたこと	6
⑥施設利用者の家族が地域の関係者に交流を呼びかけたこと	2
⑦地域の関係者が施設に交流を働きかけたこと	9
⑧社会福祉協議会に相談したこと	3
⑨その他	5
その他の回答：本園からの繋がり、市からの依頼、子ども家庭支援センターにパンフレットを置いている、また園でも来園者に配布している	



問5 地域との関係から、どのような効果が得られましたか。該当するものをすべて選んでください。

項目	件数
①職員の接遇技術の改善やサービスの向上につながった	4
②新たな利用者の確保につながった	5
③施設への理解や認識が高まり、施設運営に協力が得られやすくなった	12
④住民の意見や要望を把握することができ、新たなサービスの創造につながった	4
⑤地域の活性化に貢献できた	11
⑥その他	4
その他の回答：利用者の満足度の向上	

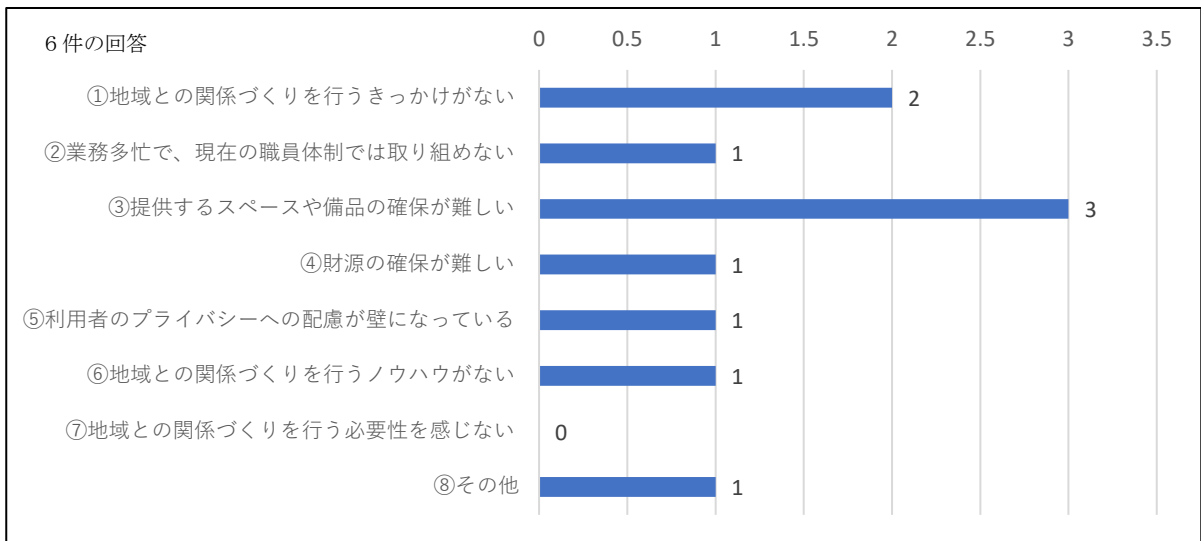


II 問1で「2」（なし）と回答されたかたにおたずねします。

問6 地域との関係がないのは、どのような理由からですか。該当するものをすべて選んでください。

項目	件数
①地域との関係づくりを行うきっかけがない	2
②業務多忙で、現在の職員体制では取り組めない	1
③提供するスペースや備品の確保が難しい	3
④財源の確保が難しい	1
⑤利用者のプライバシーへの配慮が壁になっている	1

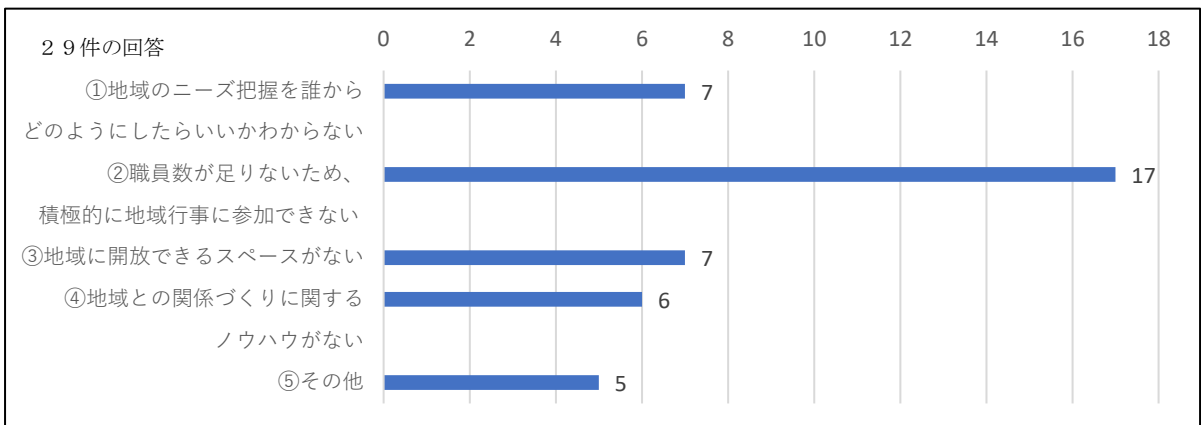
⑥地域との関係づくりを行うノウハウがない	1
⑦地域との関係づくりを行う必要性を感じない	0
⑧その他	1



すべてのかたにおたずねします。

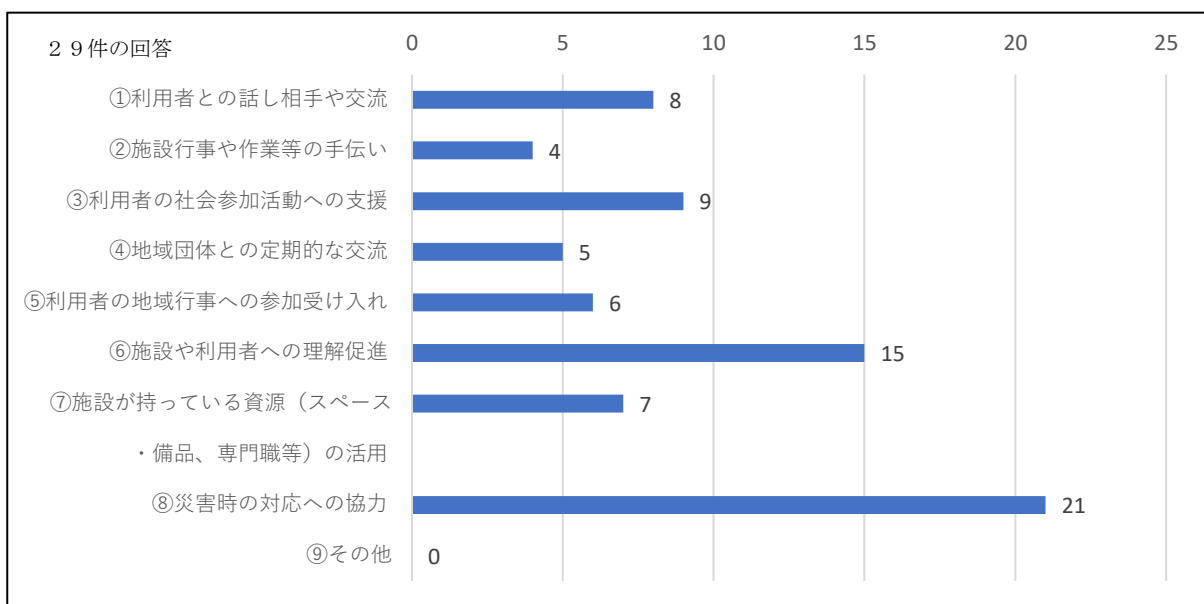
問7 地域との関係を進める上での課題は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

項目	件数
①地域のニーズ把握を誰からどのようにしたらいいかわからない	7
②職員数が足りないため、積極的に地域行事に参加できない	17
③地域に開放できるスペースがない	7
④地域との関係づくりに関するノウハウがない	6
⑤その他	5
その他の回答：地域活動に参加している	



問 8 貴施設が地域に対し期待することはどのようなことですか。該当するものをすべて選んでください。

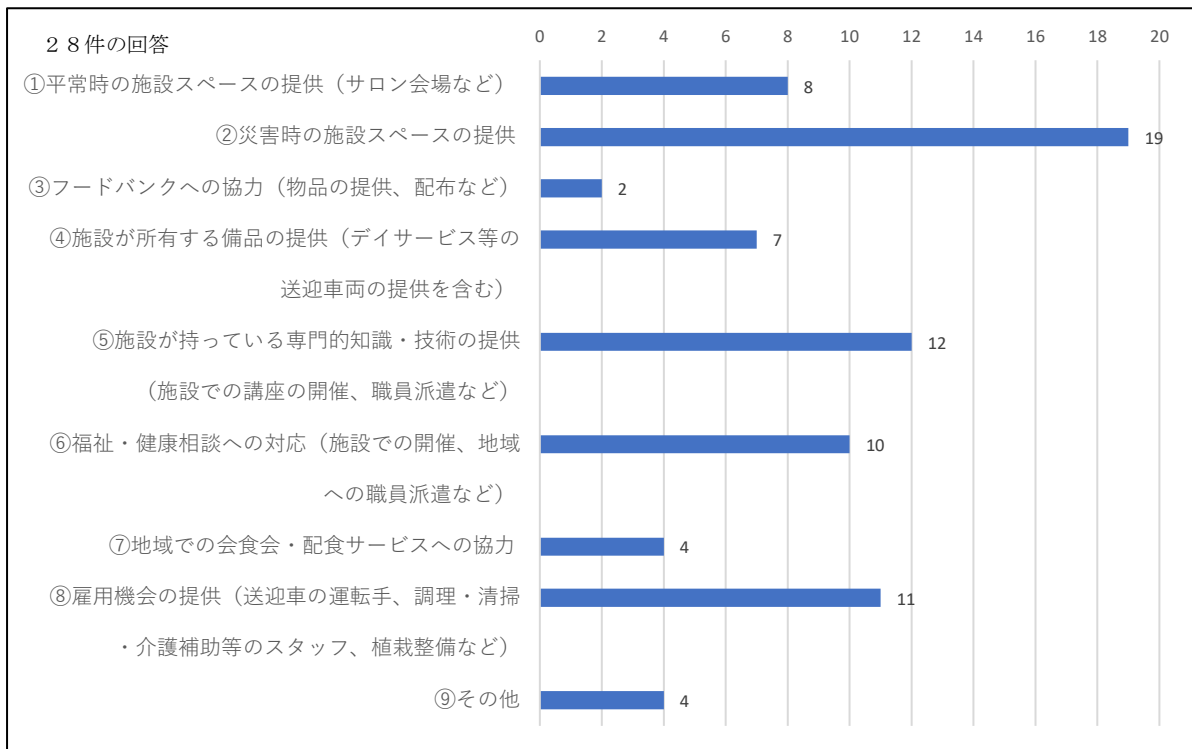
項目	件数
①利用者との話し相手や交流	8
②施設行事や作業等の手伝い	4
③利用者の社会参加活動への支援	9
④地域団体との定期的な交流	5
⑤利用者の地域行事への参加受け入れ	6
⑥施設や利用者への理解促進	15
⑦施設が持っている資源（スペース・備品、専門職等）の活用	7
⑧災害時の対応への協力	21
⑨その他	0



問 9 貴施設が今後、地域に提供可能な内容はどのようなことですか。該当するものをすべて選んでください。

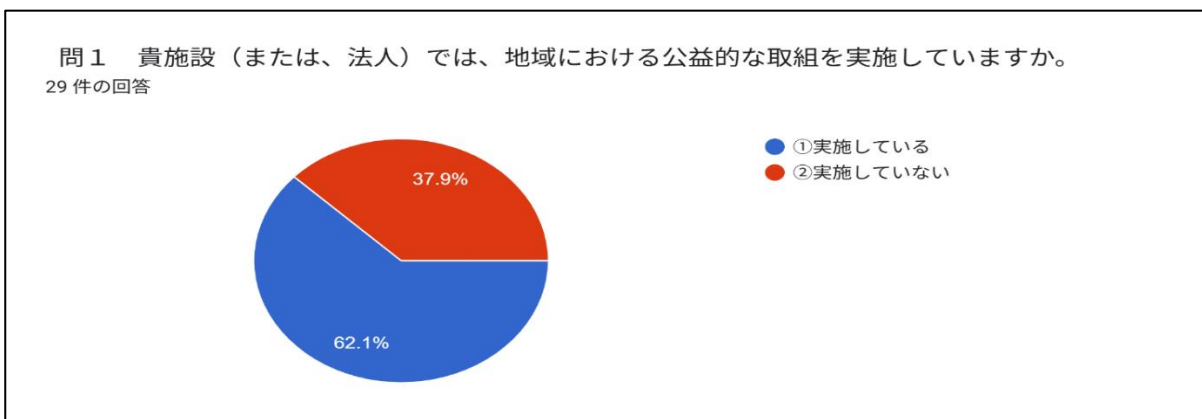
項目	件数
①平常時の施設スペースの提供（サロン会場など）	8
②災害時の施設スペースの提供	19
③フードバンクへの協力（物品の提供、配布など）	2

④施設が所有する備品の提供（デイサービス等の送迎車両の提供を含む）	7
⑤施設が持っている専門的知識・技術の提供（施設での講座の開催、職員派遣など）	12
⑥福祉・健康相談への対応（施設での開催、地域への職員派遣など）	10
⑦地域での会食会・配食サービスへの協力	4
⑧雇用機会の提供（送迎車の運転手、調理・清掃・介護補助等のスタッフ、植栽整備など）	11
⑨その他	4



Ⅲ 地域における公益的な取組について

問1 貴施設（または、法人）では、地域における公益的な取組を実施していますか。



地域における公益的な取組についておたずねします。

問2 地域における公益的な取組の具体的な内容をご記入ください。

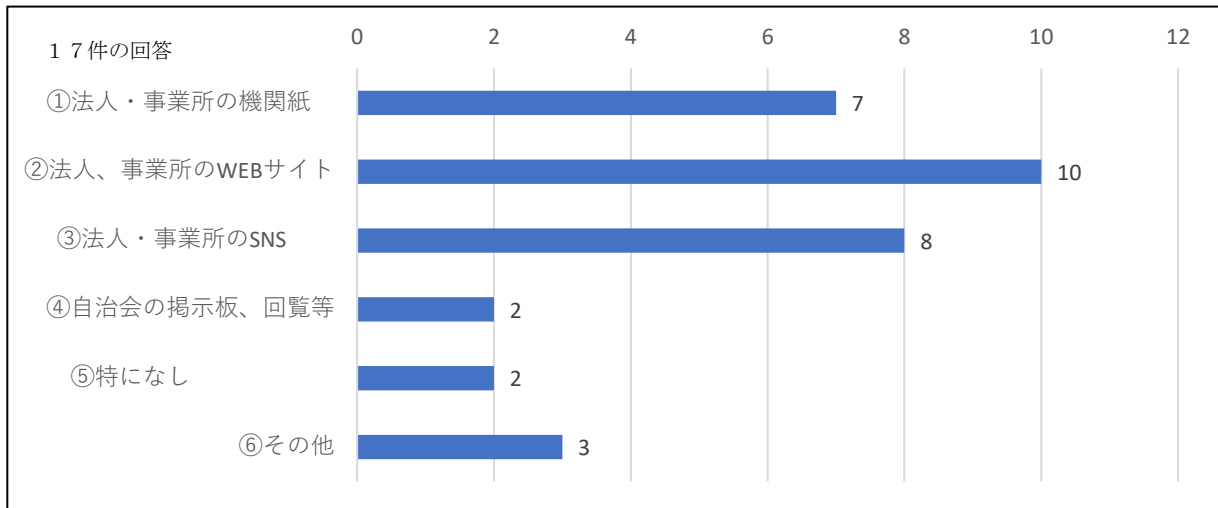
- ・子育て広場（出前保育）の開催、保育所体験の場の提供、園庭解放。
- ・福祉暮らしの相談窓口、車椅子ステーション（共に市外の法人事業所における取り組み）。
- ・災害時避難場所提供。
- ・認知症カフェ。
- ・麻雀機器・会場を定期的に利用いただいている。
- ・自治会の総会等、会場提供と手伝い。
- ・ポッチャ大会、運動会への参加等。学校運営協議会、地域マルシェ等の会場貸し出しや手伝い。
- ・子ども食堂をやっている店に出張喫茶を依頼し、子ども達と一緒に歌をうたったり、コンサートに参加。また、地域のかたの店の出店等、取り組んでいる。
- ・地域住民が主体の生活支援団体への送迎車を利用した移動支援の提供（運転も職員）。
- ・高齢者向け介護予防「筋力アップ教室」実施。その他法人内で様々な取り組み。
- ・保育所であるため、業務そのものが公益的な取り組みです。
- ・まどか食堂、お互いさまサロンまどか、子ども食堂。
- ・地域住民が交流できるイベントをイオンモールで開催。子ども向けワークショップや介護・保育相談コーナーの実施。
- ・多様な他者との関り創出事業や子育てひろばを行い、地域の子育て支援に取り組んでいる。
- ・NPO 法人の児童発達支援施設にあそび場として、毎月1回、2階ホールを提供している。
- ・困っていると連絡があった場合に相談対応し、繋いでいる。
- ・余った食事をパックに詰めて近隣の独居高齢者宅へ届けている。
- ・武蔵村山市では地域子ども交流会の実施、瑞穂町では瑞穂町社協との連携で相談窓口設置、フードリレー等。
- ・就学前の0～5歳児の保育・教育を行っている。
- ・未就学園児の受け入れ。
- ・職場体験やボランティア希望の子どもを受け入れを行っている。
- ・特性（障害児）のある子の受け入れ。
- ・募金箱の設置。
- ・お互いさまサロン、地域のかたに施設を開放しカフェの運営等実施。

問3 効果・影響及び継続するための工夫等があれば具体的にご記入ください。

- ・ ホームページ、ブログ、広報誌等の宣伝。
- ・ 参加者が興味を持てるような内容の工夫（講座＋アトラクション等）、広報活動。
- ・ スタッフの負担と予算的なこと（備品や人件費等）。もっと地域のかたとチームとして活動できれば、互いに言いやすい関係となり、お任せすることも増えてくるかもと考えています（どうしても施設側の負担が多い、準備等）。
- ・ 市担当者へ参加者の意見等をフィードバック。
- ・ 市の公式 LINE を活用いただいたの周知、案内等。
- ・ ホームページのブログの活用。
- ・ 保育園の調理室で調理ができる。
- ・ 隣のお寺のホールを貸してもらえる。
- ・ 法人の存在や役割を地域に周知し、福祉全般への理解の促進。
- ・ 地域の親子の交流の場となっている。また、担当職員を配置することがお母さん達の子育てでの悩み等、相談しやすくし、繰り返し来園してくれる親子が増えている
- ・ 個人情報の関係から保育園と関係性のある高齢者宅に限られてしまう。
- ・ 子ども達は自ら考え行動し、興味や関心を持ち、様々なことに挑戦し、成功体験をとおして自己肯定感を高められるようになっている。

問4 地域公益活動の地域への情報発信の方法について該当するものをすべて選んでください。

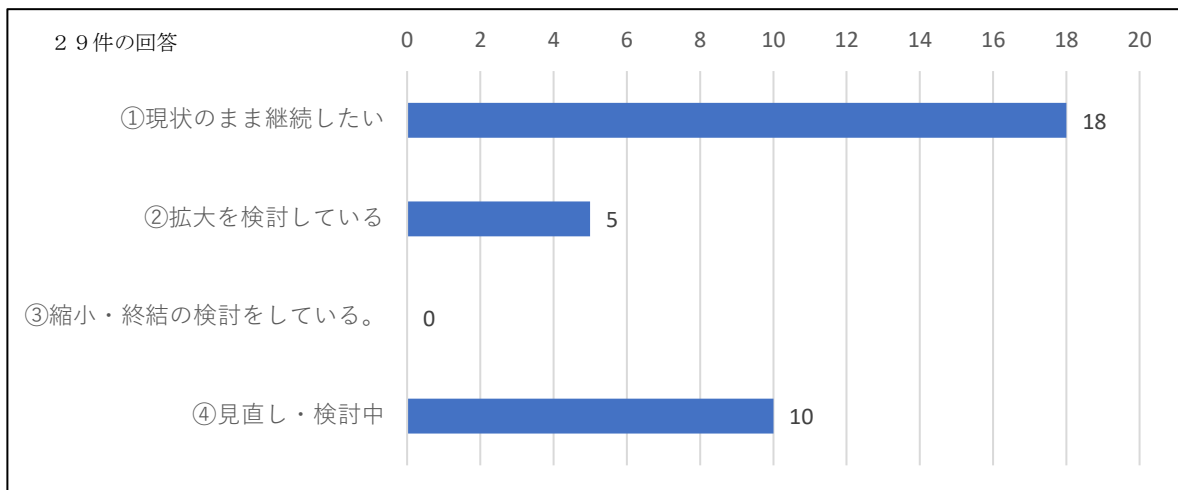
項目	件数
①法人・事業所の機関紙	7
②法人、事業所のWEBサイト	10
③法人・事業所のSNS	8
④自治会の掲示板、回覧等	2
⑤特になし	2
⑥その他	3
その他の回答：周辺近所へのチラシ配布（地域子ども交流会）・イオンモールのWEBサイトでの広報	



すべてのかたにおたずねします。

問5 地域における公益的な取組の方向性を選んでください。

項目	件数
①現状のまま継続したい	18
②拡大を検討している	5
③縮小・終結の検討をしている。	0
④見直し・検討中	10



問6 今後、取り組んでいきたい（もしくは関心がある）地域における公益的な取組があればご記入ください。

- ・市町村ネットワークの構築。
- ・広く一般のかたが参加できる取組み。
- ・地域を広域に考えた取組みをできたらと思っています。専門職をもっと外に出して相談しやすいようにする機会等。合同食堂や喫茶等、人が集まってくる所。子ども達が集まってくる所。大きいことばかり記入していますが、コツコツと一歩ずつと考えています。
- ・特にありませんが、協力できることがあれば、地域住民のかたのためにも協力させていただきます。
- ・災害時に備えた地域の関係者との連携。
- ・育児相談 栄養士による離乳食・幼児食の相談等。
- ・小学生の居場所作り、保育園に送迎が難しい保護者のお手伝い。
- ・地域のかたとの交流は進めていきたいと考えています。時間、スタッフ配置などの職場環境が整うことも必須ですが、他事業所の取組み等は参考にしたい。
- ・災害時の福祉避難所としての役割。
- ・法人で困難児の発達支援を地域のかたにも向けて計画中。
- ・協力できることは協力していきたいと考えています。
- ・障害理解への取組み（研修等）。

問7 その他、社会福祉法人ネットワークに関するご意見やご協力可能なことがあれば、ご自由にご記入ください。

- ・市内の様々な分野の社会福祉法人を一同に集めての会合も、それぞれスタンスや考え方も違うので、話がまとまらないと考えます。まして経営者（理事長クラス）が参加しても実のある話は難しいと思います。まずは協力的な法人に個々にヒアリングを実施し、コアミーティング的に集まるというのも必要だと考えます。いずれにせよ、社協は担当者任せでなく、事務局長クラスが表に出て、音頭をとるべきだと思います。大きな法人の理事長クラスを相手にするならなおさらかと思えます。社協がネットワークを構築し、現実的にできることは、全法人で何か1つのことを行う活動ではなく、それぞれの法人で今行っている活動の紹介や法人同士の橋渡し役をしてあげて、法人の活動内容について相談にのり、他法人とのコーディネートをしてあげることではないでしょうか。
- ・災害時などは施設にある備品や物資等で協力したい。
- ・関わりのネットワークの地道な継続が必要。
- ・保育園では保護者の様々な事情により入園しても送迎が出来ず登園が難しく

なるケースが時々あり、子どもは家に引きこもるしかない時があります。子ども家庭さんに相談しても使える機関がありません。保育園は家庭保育が難しいお子さんを預かる所なのに、本当に必要な所に手が届いてないと感じます。実際には市と相談して園で迎えに行くこともありました。

- ・ 特別ケースとしてです。福祉の隙間を埋められ活動として子どもたちに手を差し伸べる、何かの時には手伝うよ、的なことが社会福祉法人同士で出来ればいいですねと思います。
- ・ 同じような障害通所施設を運営している法人さんで、地域交流の点で率先しておられる事業所さんから学ぶ機会があれば、活用していきたいと思っております。
- ・ 種別や持てるノウハウも異なることからまずはそれぞれの独自性を必要に応じて社協が個別に支援する方法をとりながら、法人間での連携を探る形でのスタートがよろしいのではないかと思います。余剰人員がないなか、それぞれの法人がささやかながらに取り組んでいることを大切にしていくことからスタートしたらいかがでしょうか。例えば、地域貢献事業をいくつか設け、参加できる法人が協力していくような手法はいかがでしょうか。

3 アンケート結果まとめ

I 基本情報

(1) 開設年数について

回答者のうち、開設10年以上の施設が約90%となっています。

項目	高齢	障害	保育・子ども関係	計	割合
3年未満	0	1	0	1	3.4%
3～5年未満	0	0	2	2	6.9%
5～10年未満	0	0	0	0	0%
10～20年未満	5	2	1	8	27.6%
20年以上	3	6	9	18	62.1%
合計	8	9	12	29	

(2) 法人全体の職員数について

高齢では250人以上、障害では50～100人未満、保育・子どもでは、50人未満の法人からの回答が多くなっています。

項目	高齢	障害	保育・子ども関係	計	割合
50人未満	0	1	4	5	17.2%
50～100人未満	0	4	2	6	20.7%
100～150人未満	1	0	2	3	10.3%

150～200人未満	2	2	2	6	20.7%
200～250人未満	1	1	1	3	10.3%
250人以上	4	1	1	6	20.7%
合計	8	9	12	29	

(4) 広報誌（機関紙）の発行

約半数の施設で、広報誌を発行しています。

項目	高齢	障害	保育・子ども関係	計	割合
発行している	5	6	4	15	51.7%
発行していない	3	3	8	14	48.3%

(5) 地域との連携業務を行う職員の配置

約40%の施設に配置されており、保育・子ども関係施設の割合が高くなっています。

項目	高齢	障害	保育・子ども関係	計	割合
配置している	4	1	7	12	41.4%
配置していない	4	8	5	17	58.6%

II 社会福祉法人の地域との関係等について

【問1～問2】

問1の地域との関係（人的関係、事業交流、相互協力活動、施設のスペース・備品の提供など）がある23の施設中、地域との連携業務を行う職員を配置しているのは10施設でした。

項目	高齢	障害	保育・子ども関係	計	割合
あり	7	8	8	23	79.3%
なし	1	1	4	6	20.7%

項目	高齢	障害	保育・子ども関係	計
配置している	4	1	5	10

問2の具体的な関係がある地域団体については、「ボランティア・市民活動センター」が16件、「社会福祉協議会」が13件、「自治会」が11件、「民生委員・児童委員協議会」6件、「NPO・ボランティア団体」5件、「お互いさまサロン」5件、

「子ども食堂」4件等となっています。

【問3～問4】

問3の地域との関係で行っている活動で、地域主体で、施設が参加・協力する活動としては、「地域主催行事への参加」、「地域主催の会議（地域の福祉ニーズの開拓等につながる場）への参加」が、また、施設主体で地域が参加協力する活動としては、「施設主催の住民が参加できる行事の開催」、「施設主催の講座等の開催」が多く挙げられています。その他の活動としては、「ボランティアの受け入れ」、「施設の広報・情報紙の配布」が多く挙げられています。

【問5～問7】

地域との関係は、「地域の関係者が施設に交流を働きかけたこと」や「地域行事に参加したこと」がきっかけとなり始まったという回答が多く、また、地域との関係から得られた効果としては、「施設への理解や認識が高まり、施設運営に協力が得られやすくなった」、「地域の活性化に貢献できた」という回答が多く挙げられています。地域との関係がない理由については、「提供するスペースや備品の確保が難しい」、「地域との関係づくりを行うきっかけがない」という回答が多く、地域との関係を進める上での課題は、「職員数が足りないため、積極的に地域行事に参加できない」、「地域に開放できるスペースがない」、「地域のニーズ把握を誰からどのようにしたらいいかわからない」等が多く挙げられており、人的、スペース的な課題の他、地域のニーズ把握も課題となっています。

【問8～問9】

地域に対し期待することについては、「災害時の対応への協力」、「施設や利用者への理解促進」、「利用者の社会参加活動への支援」等が挙げられており、逆に施設が地域に提供可能な内容としては、「災害時の施設スペースの提供」、「施設が持っている専門的知識・技術の提供（施設での講座の開催、職員派遣など）」、「雇用機会の提供（送迎車の運転手、調理・清掃・介護補助等のスタッフ、植栽整備など）」が多く挙げられています。

Ⅲ 地域における公益的な取り組みについて

【問1】

地域における公益的な取組をしている18施設中、地域との連携業務を行う職員を配置しているのは9施設でした。

項目	高齢	障害	保育・子ども関係	計
実施している	7	4	7	18

項目	高齢	障害	保育・子ども関係	計
配置している	3	1	5	9

【問2～問3】

地域における公益的な取組の具体的な内容については、「災害時の避難場所」、「自治会やお互いさまサロン等への会場の提供」、「送迎車を利用した移送支援」、「認知症カフェや子ども食堂等の実施」、「相談窓口の実施」等が挙げられており、効果・影響及び継続するための工夫については、「ホームページ等、SNSを活用とした広報」、「参加者が興味を持てる活動の工夫」等が挙げられています。

【問4】

地域公益活動の地域への情報発信の方法については、「法人、事業所のWEBサイトやSNS」、「法人・事業所の機関紙」が多く挙げられています。

【問5～問6】

地域における公益的な取組の方向性については、「現状維持」が18件と最も多く、次いで「見直し・検討中」が10件、「拡大の検討」は、5件となっており、今後取り組んでいきたい公益的な取り組みについては、「災害時に備えた地域関係者との連携」、「小学生の居場所づくり」、「送迎が難しい保護者の手伝い」、「障害理解への取り組み（研修）」等が挙げられています。

【問7】

社会福祉法人ネットワークに関する意見では、「災害時等、施設にある備品、物資での協力」、「福祉の隙間を埋める活動」、「他の施設の活動から学ぶ機会」等の他、「現在行っている活動の紹介」、「地域貢献事業をいくつかに分け、参加できる法人が協力する」等が挙げられています。

武蔵村山市社会福祉協議会では、事業をとおり、地域課題の把握やその解決に向けた活動を行っていますが、社会福祉法人との連携やネットワークの構築については、まだ十分とは言えない状況です。今回のアンケート結果を踏まえ、社会福祉法人の把握する地域課題の共有やその解決に向けた取り組み及び地域における公益的な活動のあり方について、検討を進めることが必要であると考えます。

参考：アンケート内容

令和7年度「社会福祉法人の地域との関係等に関するアンケート」

貴法人名

貴施設名

ご担当者名

アンケート集計結果の送付等、今後、メールでの連絡を希望される場合は、下記にメールアドレスをご記入ください。

メールアドレス

I 基本情報

問1 貴施設の現在地での開設年数を選んでください。

- ① 3年未満 ② 3年～5年未満 ③ 5年～10年未満 ④ 10年～20年未満
⑤ 20年以上

問2 主な事業分野を選んでください。(当てはまるものすべて)

- ① 高齢関係 ② 障害関係 ③ 保育・子ども関係 ④ その他 ()

問3 法人全体の職員数を選んでください。

- ① 50人未満 ② 50～100人未満 ③ 100～150人未満
④ 150～200人未満 ⑤ 200人～250人未満 ⑥ 250人以上

問4 広報誌（機関紙）を発行していますか。

- ① 発行している ② 発行していない

問5 地域との連携業務を行う職員を配置していますか。

- ① 配置している ② 配置していない

Ⅱ 社会福祉法人の地域との関係等について

問1 貴施設では、地域との関係（人的関係、事業交流、相互協力活動、施設のスペース・備品の提供など）がありますか。

- ① あり ⇒Ⅱ問2へ ② なし ⇒Ⅱ問6へ

Ⅱ 問1で「①」（あり）と回答されたかたにおたずねします。



問2 貴施設と具体的な関係がある地域団体として該当するものをすべて選んでください。

- ① 社会福祉協議会 ② ボランティア・市民活動センター ③ 地域包括支援センター
④ 自治会 ⑤ 老人会 ⑥ 民生委員・児童委員協議会 ⑦ NPO・ボランティア団体
⑧ お互いさまサロン ⑨ 子ども食堂
⑩ その他（ ）

問3 地域との関係で行っている活動としてはどのようなものがありますか。該当するものをすべて選んでください。

（1）地域主体で、施設が参加・協力する活動

- ① 地域主催行事への参加
② 地域行事のための施設開放や備品の貸出
③ 地域団体役員への施設職員の就任
④ 地域主催の会議（地域の福祉ニーズの開拓等につながる場）への参加
⑤ その他（ ）

（2）施設主体で、地域が・協力する活動

- ① 施設主催の住民が参加できる行事の開催
② 施設主催の講座等の開催
③ 施設主催の防災に関する地域と連携した活動
④ 施設役員への地域住民の就任
⑤ その他（ ）

（3）その他（単独活動含む）

- ① ボランティアの受け入れ
② 施設の広報・情報紙の配布
③ 商店街や商工会等、福祉団体以外の会合（生活支援サービスの開拓等につながる場）への参加
④ 住民に対するアンケート調査などの実施
⑤ その他（ ）

（4）1～3以外の活動があればご記入ください。

()

問4 地域との関係は、どのようなきっかけで始まりましたか。該当するものをすべて選んでください。

- ① 施設開設時に地域の会合等で関係者に挨拶に行ったこと
- ② 自治会に加入したこと
- ③ 地域行事に参加したこと
- ④ 施設行事に住民の参加を呼びかけたこと
- ⑤ 施設でのボランティア活動を住民に呼びかけたこと
- ⑥ 施設利用者の家族が地域の関係者に交流を呼びかけたこと
- ⑦ 地域の関係者が施設に交流を働きかけたこと
- ⑧ 社会福祉協議会に相談したこと
- ⑨ その他 ()

問5 地域との関係からどのような効果が得られましたか。該当するものをすべて選んでください。

- ① 職員の接遇技術の改善やサービスの向上につながった
- ② 新たな利用者の確保につながった
- ③ 施設への理解や認識が高まり、施設運営に協力が得られやすくなった
- ④ 住民の意見や要望を把握することができ、新たなサービスの創造につながった
- ⑤ 地域の活性化に貢献できた
- ⑥ その他 ()

II 問1で「②」(なし)と回答されたかたにおたずねします。



問6 地域との関係がないのは、どのような理由からですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- ① 地域との関係づくりを行うきっかけがない
- ② 業務多忙で、現在の職員体制では取り組めない
- ③ 提供するスペースや備品の確保が難しい
- ④ 財源の確保が難しい
- ⑤ 利用者のプライバシーへの配慮が壁になっている
- ⑥ 地域との関係づくりを行うノウハウがない
- ⑦ 地域との関係づくりを行う必要性を感じない
- ⑧ その他 ()

すべてのかたにおたずねします。



問7 地域との関係を進める上での課題は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

- ① 地域のニーズ把握を誰からどのようにしたらいいかわからない
- ② 職員数が足りないため、積極的に地域行事に参加できない
- ③ 地域に開放できるスペースがない
- ④ 地域との関係づくりに関するノウハウがない
- ⑤ その他 ()

問8 貴施設が地域に対し期待することはどのようなことですか。該当するものをすべて選んでください。

- ① 利用者との話し相手や交流
- ② 施設行事や作業等の手伝い
- ③ 利用者の社会参加活動への支援
- ④ 地域団体との定期的な交流
- ⑤ 利用者の地域行事への参加受け入れ
- ⑥ 施設や利用者への理解促進
- ⑦ 施設が持っている資源（スペース・備品、専門職等）の活用
- ⑧ 災害時の対応への協力
- ⑨ その他 ()

問9 貴施設が今後、地域に提供可能な内容はどのようなことですか。該当するものをすべて選んでください。

- ① 平常時の施設スペースの提供（サロン会場など）
- ② 災害時の施設スペースの提供
- ③ フードバンクへの協力（物品の提供、配布など）
- ④ 施設が所有する備品の提供（デイサービス等の送迎車両の提供を含む）
- ⑤ 施設が持っている専門的知識・技術の提供（施設での講座の開催、職員派遣など）
- ⑥ 福祉・健康相談への対応（施設での開催、地域への職員派遣など）
- ⑦ 地域での会食会・配食サービスへの協力
- ⑧ 雇用機会の提供（送迎車の運転手、調理・清掃・介護補助等のスタッフ、植栽整備など）
- ⑨ その他 ()

Ⅲ 地域における公益的な取り組みについて

問 1 貴施設（または法人）では、地域における公益的な取組を実施していますか。

- ① 実施している ⇒Ⅲ 問 2 へ ② 実施していない ⇒Ⅲ 問 6 へ

問 2 地域における公益的な取組の具体的な内容をご記入ください。

問 3 効果・影響及び継続するための工夫などがあれば具体的にご記入ください。

問 4 地域公益活動の地域への情報発信の方法について該当するものをすべて選んでください。

- ① 法人・事業所の機関紙 ② 法人、事業所の WEB サイト ③ 法人・事業所の SNS
④ 自治会の掲示板、回覧等 ⑤ 特になし
⑥ その他（ ）

問 5 地域における公益的な取組の方向性を選んでください。

- ① 現状のまま継続したい
② 拡大を検討している
③ 縮小・終結の検討をしている。
④ 見直し・検討中

問 6 今後、取り組んでいきたい（もしくは関心のある）地域における公益的な取組があればご記入ください。

問7 その他、社会福祉法人ネットワークに関するご意見やご協力可能なことなどがあれば、ご自由にご記入ください。

.....

～調査にご協力いただき、ありがとうございました。～

お手数ですが、下記提出先へ令和8年1月13日（火）までに、下記アンケートフォーム、返信用封筒での郵送、FAX送信のいずれかの方法で、ご提出いただきますようお願いいたします。

集計結果につきましては、個人を特定する情報を伏せた形で、後日、送付させていただきます。また、本会ホームページ等に掲載するとともに、次期地域福祉活動計画等の参考にさせていただきます。

.....

<提出・問合せ先>

社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会
福祉総務課 総務係（岡村・古川）
武蔵村山市学園4-5-1 市民総合センター2階
電話：042-566-0061 FAX：042-566-025



アンケートURL

https://docs.google.com/forms/d/1-_F2LI87UZhNOR90uHboKTPQIdg00ADyRZOV0uW4II/edit

アンケート回答フォーム

